

可燃ごみ広域処理施設整備についての説明会 概要

日時：令和 2 年 11 月 15 日（日）

午後 3 時 00 分から午後 4 時 25 分

場所：岡山市南区豊成一丁目 4 番 1 号

岡南環境センター

出席者 事務局（環境局環境施設部環境施設課） 5 名ほか関係職員

地元地域からの参加者 26 名

主なご意見・ご質問

可燃ごみ広域処理施設整備について、事業者を求める要求水準の案及び、現在実施中の生活環境影響調査における現況調査の結果について説明を行い、質疑応答が行われました。主な内容は以下のとおりです。（●は地域からの参加者、○は当局を示す。）

【環境基準について】

- ダイオキシン類などの環境負荷を可能な限り低減するということだが、可能な限りでは困る。無しにして欲しい。
- ダイオキシン類につきましては、東部クリーンセンターよりもさらに厳しい基準を設定するというところで、この基準を超えないように求めることを考えております。
- 独自の基準で、広域処理施設では法令の基準 0.1mg-TEQ/より少ない値で 0.05 mg-TEQ/にしているという理解で良いのか。それが、地域住民とすれば、高過ぎる。
- 事業者からの提案になりますので、さらに厳しい基準で出来る可能性もございます。ダイオキシンにつきましては焼却を何らかの形ですると出るものですのでゼロにというのは難しいですが可能な限り少なくしたいと考えております。
- 窒素酸化物については、法令で 250 に対し広域処理施設では 100 になっているが、飲料メーカーの工場などでは、法令基準に対し独自で 5 分の 1 から 10 分の 1 以下としている例がある。法令で窒素酸化物 250 が広域では 100 じゃなくて、25 ないしは 30 ぐらいの判断をして欲しい。法令の決めた数字から大体 10 分の 1、もしくは最大限見ても 5 分の 1 ぐらいと設定してほしい。
- 窒素酸化物についても 100 という要求に対し、提案でもう少し下げられるところが出るかもしれませんが、全国的に見て最近の焼却施設ではこのような数値が一般的になっているというところ。平常時は極力少ない数値になるように努力をしていきたいと考えております。
- 他施設でこうだからこうするという考えはやめてほしい。それでは数値はなかなか下がらない。他施設のことを引き合いに出すのではなく、地域からの要望は全てやって欲しい。
- この数値についてはさらに下げられるように検討をしていきたいと考えております。
- ダイオキシンの話題が出ているが、子供たちの健康面で心配があるということを聞いており、その辺

りがどうなのかなということを知りたい。

- ダイオキシンの環境への負荷については、当然最新の技術、最新の設備で、極力環境負荷が高くなるようにしていただきますので、ご理解をいただきたいと考えております。
- 煙突は無しにできないのか。
- 煙突については、焼却施設からはどうしても排気ガスが出ますし、低い位置で排出しますと近くで拡散しますので、今現在程度の高さは確保したいと考えております。
- もっと他の方法が色々あるでしょう。もっと勉強して、煙突をなくしてこういうふうな方法がありませんとかいっぱいあるでしょう。
- 検討は十分させていただきます。

【施設の配置について】

- 洗車場が南へ移っているが、今の運用では洗車されたらそのゴミを置きっ放しになっている。洗車したらすぐゴミを片付けていただくとか、これは今でもして欲しい。現実がそういう中で、民家の近くへ移動されたら困る。出来るだけ民家から遠ざけていただきたい。
- 今の洗車場の状況をお聞きしましてご迷惑をおかけしているという状況でございますので、当然改善をしていかないといけないと考えております。洗車場の位置につきましても、想定での位置を示しているという状況ですが、事業者からの提案で他の位置になることも考えられます。
- 洗車場を北側用地の方へ配置する事は不可能なのか。建屋にするなども検討してほしい。
- 北側用地への移設ができないのか、建屋を検討できないかという点について、それも含めて検討をさせていただきます。
- 煙突の位置や建物の規模も、これもおそらく現状と変わらないぐらいの建物の大きさなんだろうと思うが、縮小は出来ないのか考えていただきたい。
- 焼却施設の建屋を小さく出来ないかということにつきましては、現在の220t炉から200t炉になるので小さくなる可能性は十分ございます。事業者からの提案によるということになりますけれども、現在の施設よりも大きくなることはなく、小さくなることは想定されます。

【発電について】

- 発電について、蓄電池を避難場所となっている公共施設へ設置することを検討していくとしているが、我々が避難場所としている地域の公会堂も対象か。一番被害を受けるのは我々地元だからそういう姿勢で考えてくれると理解して良いか。
- 具体的なことについてはこれから検討していきたいと考えております。その点につきましても今後検討していきたいと思っております。

【残さ資源化について】

- ストーカー式焼却炉プラス残渣資源化と計画しているが、残渣資源化とは何か。
- 焼却灰、灰の資源化を指します。金属については、金属だけでリサイクルします。他の不燃物、陶器類であるとかそういうものについては、最終処分場の方に搬出します。灰については民間の再生処理施設への搬出を想定しております。

- 今現在はどうしているのか。
- 灰については処理費を払いセメント原料化しています。
- 溶融処理はしないのか。
- 溶融スラグ化という方法もございますので、事業者の提案でコストが安いということになればその方法もございます。
- 残さの資源化についてコスト試算はしているのか。
- しています。

【災害対策、一時避難場所機能について】

- 避難場所について、200人ぐらい受入れる予定と書いてあるが、運用方法は決めていないのか。
- 200人程度というのは規模の設定で、仕様、運用方法の検討についてはこれからとなります。
- 利用者の優先順位は、高齢者や障害者を優先にするように。
- ご意見を聞きながら検討していきたいと思います。
- 通常の指定避難場所として小学校が指定されているが遠くて避難しにくいので、こちらの新施設を本当に期待している。避難場所として防災拠点機能も付加するということだが、具体的にはどのようなものか。
- 例えば研修室や廊下といった空間を避難場所として使うということを想定しており、拠点機能については、焼却施設はごみ発電を行うため、停電時でも電気や温水等が使用可能になるので、そういう機能を一部に持たせるという意味合いで書いております。
- 民営化について、非常時の対応を職員の方ができるのかどうか、市の防災の方で市職員を派遣して対応されるような施設になるのかどうかその辺を教えてください。
- 災害の時、この施設から避難場所に電気を供給するとあるが、この施設自体が被災したらどうなるのですか。
- 施設の強靱化ということで耐震性能を上げる、浸水の対策をとるなどし、災害時でも稼働出来るように施設を整備していきたいと考えております。
- 1週間程度の避難期間を設けていますが、当然災害ごみも出てくる中で避難していただけるのか。
- 災害時にはごみ処理量が増えてくるということもございますので、避難につきましては長期間の滞在は難しいと考えておりますが、1週間程度であれば何とか滞在していただけるのではないかと考えております。

【発注方式、施設の運営について】

- 公設民営を検討しているとのことだが、そのあたりはどういうふうになっているか教えてほしい。
- 公設民営についてですが、こちらについてはDBO方式というものを考えており、設計から建設運営までを一貫して民間事業者をお願いするという方式を計画しております。

【プール西隣公園、北側用地について】

- プール隣の公園を使わせてもらっているが、工事中に公園を資材置き場等に使うことはないか聞いていますが変わっていないか。

○変更ございません。

●北側用地について憩いの場になるということですが、公園になるということでしょうか。

○都市公園法の公園、遊具等が設置してある公園というイメージではなく、通常は広場として利用していただき、災害時には一時避難場所として使用できるような広場を考えております。

●温水プールも老朽化しており建て直しが必要になってくると思うが、プールの横の公園がなくなり、北側用地へグラウンドゴルフやちょっとした運動会ができる広さの公園が出来るということはあるか。

○そこまでの広さはないかと思われませんが、使い方についても地元の方からのご意見を伺いながら、今後、計画を立てる中で決めていきたいと考えています。

●北側の整備ですが、非常時は災害ごみが搬入されたり駐車場になったり、そういった恐れが多分にあるので、その辺の対策を何か具体的に考えられているのか教えてください。

○北側用地における災害時の災害ごみの対策ということですが、今のところ避難場所ということで、災害時には市民の方が避難できるような広場という前提で考えております。何か対策を考えているのかということにつきましては、そこまで検討が進んでいないという状況でございます。

【岡山市のごみ処理行政について】

●広域処理で大きな施設だと思うが、一方ではごみを減らしていくとも言われている。その辺の方針、方向性というのがどうなっているのか。

○ごみの減量につきましては、玉野、久米南を含めて 200 トン炉にするため、かなりのごみ量を減らしていく必要がございます。そこに向けて様々な努力をしながら減量に努めていきたいと思っております。

【生活環境影響調査現況調査結果の報告について】

●生活環境影響調査について、前回の説明会の際に、うちの町内会を観測地点に入れてほしいと言ったが調査地点に入っていない。

○調査地点につきましては、風向や風速の条件も調査し濃度が高いと思われるところで設定をしています。

●臭いは下へ落ちてくる。調査地点になぜ入れないのか。次の調査から入れるように。

○検討させていただきます。

以上